

『京マチ子特集』 映画上映会のご案内



当館、国際交流基金、ブエノスアイレス劇場複合施設（CTBA）及びアルゼンチン映画財団の共催による「京マチ子作品特集」を12月4日（土）～15日（水）まで、サンマルティン劇場レオポルド・ルゴネスサロンにて開催いたします。

京マチ子（本名：矢野元子）は1924年、大阪に生まれ、12才の時、大阪松竹少女歌劇団に入団。戦後「大映」に入社、女優デビューを果たす。身長160cmと当時の日本女性としては体格の良さを魅力とし、「羅生門」（黒澤明監督、1950年）、「雨月物語」（溝口健二監督、1953年）、「地獄門」（衣笠貞之助監督、1953年）といった、国内外で高く評価される名作に続けて主演し、一躍スターとなり、大映の看板女優として活躍、戦後の日本映画史に偉大な足跡を残しました。映画に加え、お芝居やテレビ・ドラマにも出演するなど、晩年まで精力的に活動を続け、2019年5月に95才で逝去されました。日本が誇る名優に焦点を当て、現在では観られる機会がほとんどない貴重な映画を含む7作品（全て日本から今回のために送付された35mmフィルム）から構成される本上映会、是非、この機会をお見逃しなく。

会場 サンマルティン劇場 10階レオポルド・ルゴネス・サロン（Av. Corrientes 1530、CABA）

期間 2021年12月4日（土）～15日（水）（■6日（月）、8日（水）、13日（月）は上映なし）

入場料 200ペソ（一般）、100ペソ（学生及び定年退職者）（[劇場公式サイト](#)）

日程

●12月4日（土） **地獄門**（開始時間 / 15:00、18:00）

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón、Bouchard 547 15-piso、CABA、
TEL.4318-8240 / centro-info@bn.mofa.gov.jp / <https://www.facebook.com/Emb.jp.ar>

(1953年、89分、35mm / 監督：衣笠貞之助、主演：京マチ子、長谷川一夫)

「平家物語」や「源平盛衰記」などで語り継がれた、袈裟(けさ)と盛遠(もりとう)の物語を題材にした菊池寛の戯曲「袈裟の良人」が原作。1954年、米国アカデミー名誉賞とカンヌ国際映画祭グランプリを受賞。日本映画初のカラー作品。

● 5日(日) 雨月物語 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1953年、97分、35mm / 監督：溝口健二、主演：京マチ子、森雅之、田中絹代)

江戸時代後半、上田秋成によって書かれた、9篇から成る同著の中から、「浅茅が宿」と「蛇性の姪(いん)」の2篇を脚色した作品。舞台は近江国と京に設定されている。ヴェネツィア国際映画祭銀獅子賞受賞。

■ 6日(月)は上映なし

● 7日(火) 地獄門 (開始時間 / 15:00)

(1953年、89分、35mm / 監督：衣笠貞之助、主演：京マチ子、長谷川一夫)

雨月物語 (開始時間 / 21:00)

(1953年、97分、35mm / 監督：溝口健二、主演：京マチ子、森雅之、田中絹代)

■ 8日(水)は祝日のため上映なし

● 9日(木) 鍵 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1959年、105分、35mm / 監督：市川 崑、主演：京マチ子、中村鴈治郎)

原作は谷崎潤一郎の同名小説を原作とする。第13回カンヌ国際映画祭のコンペティションに出品され、審査員賞を受賞。第17回ゴールデングローブ賞では、外国語映画賞を受賞。

● 10日(金) あにいもうと (開始時間 / 15:00、21:00)

(1953年、93分、35mm / 監督：成瀬巳喜男、主演：京マチ子、森雅之、久我美子)

室生犀星の同名小説の2度目の映画化作品。兄と2人の妹との複雑で深い思いを、繊細かつ力強いタッチで描く。深刻な内容ながら、暗くなることのない乾いた味わいが心に響く名作。

● 11日(土) 鍵 (開始時間 / 15:00)

(1959年、105分、35mm / 監督：市川 崑、主演：京マチ子、中村鴈治郎)

あにいもうと (開始時間 / 18:00)

(1953年、93分、35mm / 監督：成瀬巳喜男、主演：京マチ子、森雅之、久我美子)

浮草 (開始時間 / 21:00)

(1959年、119分、35mm / 監督：小津安二郎、主演：京マチ子、中村鴈治郎)

ある港町に興行に来た歌舞伎芸人一座を巡る愛憎や裏切りを描く。小津自身が25年前、手掛けた「浮草物語」(1934年)のセルフリメイク。小津が第二の故郷である三重県で、ロケーション撮影した唯一の映画。

● 12日(日) 浮草 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1959年、119分、35mm / 監督：小津安二郎、主演：京マチ子、中村鴈治郎)

源氏物語 (開始時間 / 18:00)

Centro Cultural e Informativo de la Embajada del Japón、Bouchard 547 15-piso、CABA、
TEL.4318-8240 / centro-info@bn.mofa.go.jp / <https://www.facebook.com/Emb.jp.ar>

(1951年、124分、35mm / 監督：吉村公三郎、主演：京マチ子、長谷川一夫)

大映創立十周年記念作品。52年度カンヌ映画祭撮影賞受賞。

■ 13日(月)は上映なし

● 14日(火) 源氏物語 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1951年、124分、35mm / 監督：吉村公三郎、主演：京マチ子、長谷川一夫)

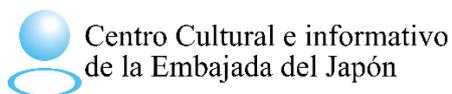
女 経 (開始時間 / 18:00)

(1960年、100分、35mm / 監督：増村保造(第一話)、市川崑(第二話)、吉村公三郎(第三話)、
主演：(第一話)「耳を噛みたがる女」若尾文子、川口浩 / (第二話)「物を高く売りつける女」
山本富士子、船越英二 / (第三話)「恋を忘れていた女」京マチ子、中村鴈治郎)

この映画は女性を中心に展開する3つの物語からなるオムニバス映画。第一話は、東京のナイトクラブで働く若い女性が、ある会社社長の息子に結婚詐欺を企む。第二話では、若い女性が不動産業者に雇われ、ある顧客に価値のない不動産に投資するよう、説得する。第三話では、経済的心配のない未亡人の芸者が、偽造者と恋に落ち、その男が刑務所に送られた後、彼を待つことを選ぶ。

● 15日(水) 女 経 (開始時間 / 15:00、21:00)

(1960年、100分、35mm / 監督：増村保造、市川崑、吉村公三郎)



(c) 1959 Kadokawa Pictures